

◇『マイナスをプラスにする広報の醍醐味』

理事 木田洋一

竹原理事長がやっている[日本一明るい新聞]の配信メール「♪ 明るいニュース “ドット来る”」の今週号で「大阪・関西万博がいよいよ2年後に迫ってきました。ただ、最近では、建築着工の遅れ、建築コストアップなどのマイナスの情報が目立っています。『大丈夫かいな』と、不安に思っておられる方も少なくありません。日本のメディアはどうしてこんなにマイナスの情報が好きなののでしょうか?」という記事がありました。

メディアがどうしてマイナス情報が好きなのか?の答えですが、メディアのニュース感覚について「犬が人を噛んでもニュースにならないが、人が犬を噛むとニュースになる」という言い方があります。これは広報にとって、「マイナス」だけではなく「プラス」でも大事な点です。

つまり「よくあること、普通のこと」では、世間の関心を引かない、「えっと」思わせることでないとニュースにならないということです。「順調に工事が進んでいます」では、普通のこと、みなさん敢えてそのような記事を読みますか?

そしてもうひとつ大事な点は、マイナス記事には、その事案の原因、背景という根本的な問題があるからです。関西万博では、工事業者が抱える資材高騰がいつまで続くかという不安、2024年から建設・運輸業にも適用される働き改革規制の問題等があり、これを伝えるいい事例でもあるのです。

でもこれだけでなるほどと思ってしまうのは、広報担当として失格です。

ここからが広報担当の大事なところで、「このメディアの関心ある事案について、自社の商品、ノウハウを何か絡められないのか?」と知恵を絞らないと、広報の仕事をしていないことになります。「資材高騰に対応したもの、働き方を変えるもの」に自社の商品、サービスなどが、関わらないのか、という目線で見直してみることです。これさえできれば、既存の商品でもニュースになります。

関西万博の問題に限ったことではありません。資材高騰、働き方改革の対応はいろんな分野に広がります。注目の社会的問題、メディアが問題としていることに繋げる工夫です。これが広報の醍醐味、面白さなのです。

◇『次の新商品は何か?』

代表理事 竹原信夫

◎電話で原稿を送る

今ではスマートフォンは電車の中、仕事の中で当たり前のように使っています。でも、ボクが新聞社に入社した頃は、携帯電話もありません。

いやいや、ファックスもない時代でした。そこで、新聞社での最初の仕事はファックスの仕事でした。先輩の新聞記者が記者クラブから電話で原稿を送ります。

◎漢字が分からない

口述筆記でそれを原稿用紙に書くのが最初の仕事でした。ゆっくり言ってくればありがたいのですが、「時間がないから早く取れ」と早口で原稿を読まれます。

漢字が分からない、こざとへんが分からない。「ちょっと待って下さい」というと、「アホ!

はやくとらんかい」とえらい怒られました。胃が痛みました。

◎ 変化にどう対応するか？

今では簡単にネットで原稿送れますから、こんな新人教育は無くなってしまいました。世の中どんどん便利になって行きます。

時代の変化で、仕事の中身、会社の中身も大きく変わります。また、逆に変わらないと会社は生きていけません。時代の変化にどう対応するか？大事なところです。

◎ 創業約 120 年の歴史

先日、取材したのは大阪南部にある毛布の産地でした。泉州地域には昔は繊維産業が発展して、タオル、カーペット、毛布などの繊維産地がたくさんありました。

創業約 120 年の歴史があります。毛布の製造販売からスタートされました。「当社は地元の毛布組合に加盟しています。でも、もはや毛布はつくっていません」と、社長はおっしゃいます。

◎ 尿漏れパンツがメイン

それでは、何をつくっておられるのか？「ハリコ犬」をブランドマークにし、ベビー寝具用品から抱き枕、ルームシューズなど多彩な商品を開発されていました。

赤ちゃんのおねしょ関連商品がきっかけで、20 年前から尿漏れ商品も開発。今ではメイン商品がいつのまにか、“尿漏れパンツ”になっていました。

◎ 約 30 種類を商品化

開発プロジェクトのメンバーは社長含めて 6 人。「感触は布地が良いですが吸水力が弱いなど一長一短。履き心地が良く、恥ずかしくないデザインなどを考慮して商品化しています」と。

今では尿漏れ関連で約 30 種類を商品化されていました。女性用の「スタイリッシュショーツ」は、エレガントなデザインで、逆戻りしない特殊な吸水パッドを使用し、サラッとした快適なタイプ。

◎ 多彩な尿漏れパンツ

「すいとるオムツコート」は、パンツタイプの“はく防水シート”。腰から太もも中ほどまで、漏れが想定されるエリアをフルカバーします。

男性用「エチケットボクサーパンツ」は、フロント部分の内側に薄型の 3 層パッドで、ズボンへの染み出しを防止。8 月には骨盤底筋を引き上げて尿漏れを防ぐ新商品を計画されています。

◎ 高齢の次は何が来るか？

長い歴史の中で、毛布から尿漏れパンツに商品が大きく変化化されました。時代のニーズに対応しないと生き残れません。高齢の次は何が来るか？社長さんは次の新商品を楽しそうに探しておられました。